岐蘇民生新聞

毎月三回一ノ日發行
發行所　岐蘇民生新聞社
長野縣西筑摩郡楢川村
電話一六二番
定價一月一冊郵稅一錢五厘
編輯兼發行人　武居一

武居

民主主義と今日の日本
新日本建設のために

Democracy すなはち民主主義なる思想とそれを表現せる政治活動は古代ギリシヤに於て發端してより既に二千數百年の歳月を經て今日に至つたものである。しかも近代民主主義は十八世紀末葉にあたつてアメリカ獨立戰爭、フランス大革命と謂ふ血の鬪爭をもつて結實されてより歐米諸國の國家的政體として根強い發展をみせてゐる。かゝる事實は民主主義が世界的政治思潮の主流をなすものであり、各國民の社會常識として普遍化した言葉であると、言ふことが出來る。それにも拘らず日本に於てはこの言葉の意味は正當に評價されず、往々にして曲解され、殊に終戰以後の言論界に於てさへこの傾向の濟産されてゐないのは遺憾である。民主主義を正しく攝取するためには、その正しい定義を前提としなくてはならない。今日われわれの謂ふところの Democracy なる語源をたづねてみると、ギリシヤ語の Demos と Kratos との集合名詞からなることが解かる。説明するまでもなく Demos は人民を意味し、Kratos は權力すなはち政治を意味するものであり、日本語の民主主義は政治的術語として最も優れた譯語と謂ふべきである。從つて民主主義思想ないしは政治運動なるものは、君主專制政治、貴族政治に對して反對し、また抗爭する運動に基ごとなる。リシヤに於て最初に發せられた民主主義は、ペルシヤ戰爭に於て勝利を得たアテネ市民が、自由と平等を内容とする民主主義を實現した事である。

次に近代的民主主義思想は、[illegible]發達した歴史をみると、[illegible]近代政治史を通じて、[illegible]快に思ふことは[illegible]（一七七五―一七八三）[illegible]戰爭は植民地市民[illegible]アメリカ國民の獨立運動であり、[illegible]實質的には民主主義の[illegible]する革命であつたと謂へる。[illegible]六年七月四日の獨立宣言は[illegible]に於て最初に發せられた民主主義[illegible]由、住民の平等、封建的特權[illegible]を内容としたもので、この宣言は當時の進歩的民主主義者フランクリン、ジェファーソン、アダムソンによつて起草されたものである。

かくしてヤヌ[illegible]より英帝國の覇絆から[illegible]立を達成、植民地時代の封建的獨[illegible]族の特權を廢棄し、亞洲の住民に選擧權を確保させ、議會制度を[illegible]三權を分立させ、自治國家合衆國を構成した。しかるに近代的民主主義は、[illegible]民主主義を導入したパ[illegible]鬪爭指導者であつたことは[illegible]であらう。

フランス革命の標語は自由、平等、博愛であり、その具体的内容はダントンによつて發せられた人權宣言であるが、これに先行したアメリカの獨立戰爭もまた同じく自由と平等であることはこれ等二つの政治的鬪爭が同一の民主主義の革命思想に規範を有する國際的運動なることを立證するものである。

今世期に至つてわれわれは更に身近かに民主主義的政治鬪爭の現實を目擊した。その一つはレーニンによつて行はれた一九一七年のロシヤ革命であり、他は孫逸仙を中心として行動し、今尚繼續されてゐる支那革命である。

スターリンはロシヤ革命の過程を二つの段階に區別してゐる。すなはち一九一七年二月の革命はケレンスキーの社會革命黨を中心とするブルジョア民主主義革命であり、今年十月レーニンを主とするボルシェヴィキの革命はプロレタリヤ民主主義革命であると、ブルジョア民主主義革命の標語はツアーの君主專制政治を打倒しブルジョアジーが政權を獲得するものであるが、プロレタリヤーデモクラシイ革命は資本家、地主勢力を打倒し、勞働者、農民が政權を獲得するものでソヴエート革命とはこれをさすものである。

ソヴエート革命は現在二つの形態をとつてゐる。一つは孫文の三民主義（民權、民生（他は毛澤東等の共産主義）新民主主義）であるが、これは[illegible]民主主義を基礎とすることに於て類似し、封建的絶對勢力、軍閥に抗爭し、帝國主義日本の侵略に際しては抗日統一戰線をもつて鬪爭したのは周知の如くである。

三

今次太平洋戰に於て日本の戰敗を指導したものは封建的貴族、軍閥、地主階級と大資本家とのブロック勢力であつた。これ等の反民主主義的障碍は國際的には猶善的自己優越性を强調した爲孤立化し國内的には特權を濫用して國民大衆を壓迫した爲遂に其の戰爭目的を達成する得ず悲劇的敗戰に終つたのである。

ポツダム宣言受諾を一轉機として現在の日本に於ては重大なる政治的轉換が行はれつゝある。今其の特徴的なものを擧げて見ると、イ、封建的貴族、大地主、大資本家階級の崩壞しつゝある樣相、ロ、小ブルジョアジー、知識階級、農民層の政治的自覺と擡頭、ハ、プロレタリアートの解放戰線結成である。

現在の日本社會に發生しつゝあるこれ等の諸特徴は一九一七年二月革命當時に於ける帝政ロシアの政治情態を彷彿せしめるものがある。たゞ異る點は當時に於けるロシアは尚東部戰線を支持し得るだけの戰力を保存して内部に於ける革命を進行しつゝあつたのに反し現在の日本は無條件に降伏し、完全敗北の形式をとつてゐることである。換言すればロシアの場合は舊支配勢力がなほ外面的に權力を保持し内面的には新に政治的分野に進出した革命的ブルジョアジーと必要によつては妥協し得る余力を蓄積したのに反し、日本に於けるそれは戰線の全面的崩壞により、もはや何事をも爲す可からざる窮狀に陷つてゐることである。この相違は日本に於ける民主主義革命の客觀的條件となり、その推進勢力、方法等に重多の變化を與へるものなるとは確實である。具体的に言へば日本に於ける民主主義革命はフランス、ドイツ、ロシヤ等に於ける段階的形式を踏まず、社會主義的目標へ進展し得る可能性が多分に存在してゐるしかしてその方法としては暴力革命よりはむしろ合法的、智的革命の傾向をたどらうとしてゐる點、現在の支那革命の方法と一面相通じてゐる様と謂ふことが出來やう。

勝野金政

發刊の辭

史上嘗つてなき敗戰の現實はわれ〳〵から一切の希望を奪ひ去つたかに見える。

併しわれ〳〵は遥しき信念をもつて我國の平和的民主主義建設のために闘はねばならぬ。

その爲には國民大衆を惨たる戰爭に投入しその生命と生活を破壞し去つた過去の責任者の審判が追求され更にまた明治以來の我國の發展過程の究明を必要として居る。

斯る究明は單に軍國主義的要素のみに限定されるものではなく過去の政治、經濟は勿論廣く社會機構全般に亘らざるを得ない。

今日軍國主義や官僚主義が追求せられつゝも斯るものゝ存立の基礎を爲しそれが生長發展した社會的基盤の究明は不充分である。然し斯る社會的基盤の究明なくして民主主義建設の方向を把握することは困難であらう。

民主主義國家を特徴づける各國の共通性は封建的要素の拂拭であり、それなくして眞の民主主義建設はあり得ない。

わが國民大衆の生活條件は全く隷屬的であり、健全なる生活と自主的な批判を行ひ得る條件を保有しなかつたのである逸々る。

臨時議會に於て曲りなりにも選擧勞働組合、農地制定の三法案が通過をみ、勤勞者、農民の生活權擁護と實況を婦人大衆が青年と共に政治的參與の機會を持つに至つたがわが婦人大衆は今日までその大部分の時間を家庭の雜事に奉はれ新聞の購讀ラヂオの聽取時間すら有して居ない多數の勤勞者、農民も共に同じ條件下にあるといへよう、斯る條件下に民主主義の生長がみられない。それは勤勞大衆の覺醒により、農業の近代化を通じ民主主義の生活の科學化によつて民主主義の發展への條件が確立されなければならぬ。

斯る生活基盤の創立は個人の完成への道を開き大衆的批判が可能となり獨斷的權威主義思想、技術が生れ出るのである。基本的諸問題と共に種々の大衆の最大關心事は食糧問題である。諸種の問題の解決は不可能であらう。

われ〳〵同人は[illegible]決と政治的[illegible]自らの實[illegible]民主主義（他は毛澤東等の共産主義）新民主主義）であるが、これは孫文の三民主義（民權、民生（他は毛澤東等の共産主義）新民主主義）で

▽酷寒を控へて主要食糧の大半を移入に依存する本會谷の食糧事情は殆に憂慮すべきものがある、爲政者にこれが解決の對策と情熱果してありや。

▽郡下の供出は依然鈍調である、原因として指導者側への不信が强く指摘されてゐる、供出完遂の鍵は指導者に對する信頼と公平な割當にある

▽農地調整法も金納と物納とが地方事情によつて許されると云ふ、農地委員會の構成と運營をわれ〳〵は嚴重に看視せねばならぬ。

▽議會は解散された、全邦的に花より團子で選擧に對する關心は極めて稀薄だが今回の選擧が最も重大な意義をもつ所以はいふまでもなく日本の將來を再建する政治基盤たる新議會を組織する點に在る。

▽今こそわれ等は永い政治的感覺のエアーポケットから脱して簡明直截に過去五十年に亘る議會史を檢討すべきだ。併して政治は生活なりといふ言葉を再吟味すべきだ。

▽一票の行使が新日本建設への道標であることを自覚するならば侍覲的態度は斷じて許されない、實踐を通じて政治的啓蒙へ、本會谷がいつまでも封建的殖産の當場であつてはならない。

▽東京財團の今後の處理を綜つて本會鶴林の覺醒とそ注目される本邦本會谷住民へとそれとそ切實の叫び声

岐蘇春秋

著作権法に基づき提供された複写物です。著作権者等の許諾がなければ、掲載・配信等ができない場合があります。 国立国会図書館 2015年11月4日

滿洲脫出記 (1)

八木あき

前書

八木秋子女史は本會福島町の出身者で黎明期の我國婦人解放運動に挺身した熱情の人、

敍年前渡滿し大陸文化建設に活躍しつゝあつた。嵐の滿洲を眺して舊臘福島町の寓居に落着き本紙の爲に此の一文を寄せられた。

敗戰の歳はまさに暮れやうとしてゐる。ふるさとの信濃はいま、ふかい雪に包まれて炬燵の火をかきたてゝも寒さは冴々と身にこたえる。

無條件降伏――といふ、このおどろくべき言葉が、自分自身のこととして、自分達血をわけた民族のぬぎさしならぬ現實としてうけとるべく宣告されたあの、八月十五日。その日からもう四ケ月あまりの日が流れ去つた。想へばこの歳末は殊に感慨ふかいものがある。何といふ大きな變化、何といふふかい、、格底からの破壞であつたらうか。

議會は解散した、選擧法案と勞働組合法案、そうして農地制定法案とをどうにか生みおとして。しかも來るべき總選擧も混沌として立候補の目標さへ定まらない狀態であり、失業とインフレと、饑餓から、いかにして自分と家族の生命を守りぬくべきかに大多數の同胞は狂奔してゐる。

古き權力はいま音をたてゝ崩壞しつゝある。地位と、勢力と富と、これ等の足もとに不安の波が押しよせ、根底からの動搖に包まれながらしかも新らしい希望の光りはこの敗戰の混沌としたなかにすでにその芽生へをのぞかせてゐる、一切の價値の轉換が行はれつゝある現在である。

かうした感慨のなかに身をおいてさて自分の姿をふりかへつてみると今更ら不思議な氣がしないでもない。終戰の二日まへ、八月十三日の朝滿洲の新京を脫け出して十一月の末このふるさとの本會に辿りついたわたしであるが、かうしてあたゝかい炬燵にあたりながら、想ひは遥い滿洲や北鮮に殘つてゐる人々の上に走らずにはゐられない。

新京がはじめて空襲をうけたのは八月九日の午前二時頃であつた、この日を豫期して市民は上からの命令どほり一生懸命、待避壕を堀り、荷物の疎開や防空訓練、救護訓練などに緊張した日を送つてゐた、戰局が日に〳〵不利になつて沖縄の玉碎が報導され、滿洲から對日輸送の食糧船や石炭船がつぎ〳〵と撃沈されたなどの噂がひそ〳〵囁かれる頃から目立つて滿洲の樣子が變つてきた。炭鑛も重工業生産工場も、その他官廳會社いづれの職場にあつても、深刻なサボタージュが始まり、生産能率は急角度に低下することになり、公然と設けられてゐる滿人商人の闇市場で日本人にたいして物價を天井しらずに暴騰させてとゞまるところを知らない有樣となつた、その上、品物によつては日本人に賣らずまた裏物などことさら日本人をボイコットして明かに反感以上の挑戰的態度に出るやうになつて、私たち同胞は何となく日本及滿洲の戰局がどうなつてゆくか、といふこと以外に對民族としての立場からいつ何事が起りはせぬかといふ不安を持つことになつた。

しかも最初の空襲の一夜があけ初めた頃、ラヂオでソ聯の空襲だつたときかされた時のおどろきと失望は大きかつた。なぜならそのときまで滿洲の一般日本人はソ聯が遠からず日米のあひだに調停役を買つて出るものと希望的觀測をもつてゐたからであるし、また事實ソ聯にたいして關東軍は少なからず早居な態度を示して御機嫌をとつてゐたのである。そのソ聯が不意うちに中滿洲の各都市を空襲擊撃しはじめたばかりない、北鮮から滿洲の東、北、西國境を突破して潮のやうに戰車機動部隊がなだれこんできたことを知つたからである。

かうしたあまい觀測や期待がいとも簡單に崩れるとい、關東軍はその日のうちに軍人の家族を特別に編成した列車へ多くの荷物、家財道具と一緒にのせて通化方面へ手配はよく疎開させた、この噂が新京だけでなく、各地へひろがり、市民の不安が高まるにつれたその夕方、新京では滿鐵系から全邦人市民にたいして疎開の通達は午後十時過の列車に間に合へ、八時までに見玉公園前に集合せよ、行先は不明、携帶品は炊事道具、一週間分の食糧を含めてリュックと鞄、空襲警報が出るだけ――との宣告であつた。その申渡し部七時、集合まで時間足らずしかない、考へるひまも準備するひまもないほどの慌しさである。

居留民街はたちまち不安と混亂の空氣に包まれた。しかし、すでに關東軍は家族の引揚げを二、三日まへから始めてゐたのであつた。その夜會社からの呼出しで行つてみると、明日の十日ぢうに社員の家族全部を疎開させるから今からその計畫をたてるのだ、とのことだ、とにかく、一萬五、六千名の社員家族を一日のうちに輸送するといふ。

しきりなしの空襲警報である、うすぐらい灯火の下プリントの手をやすめて防空カーテンのかげから窓下をながめる、新京驛前の廣場は眞暗なかに影しい人のうごめいてゐるのがわかる、人は刻々にふえ、荷物とともに渦まいてゐるのが夜目にもしるく、廣場の並木の茂み、壁なきどよめきがきこえてくる、疎開の人影は增してゐるばかりであつた午前三時までに滿鐵隣組の各班長にまで配布すべき疎開の通達のガリ版をきりながら「全社員家族にして、社員並に婦人社員を除く――」

といふ文句に納得した、これは當然のことだ、家族は一刻も早く送り出す、社員と婦人社員は最後まで職場を死守して戰ひ、玉碎すべきは初めからわかつてゐた當然の結論なのである。

それにしても、何といふあつけなく逃げ出し方だらうか、と思つた、たつた一度の空襲に總崩れになつて敵へ敬白してゐる、子供を背負ひ、子供たちの手をひいてわづかばかりの荷物が全財産なのである、刻々の情報はソ聯軍はすでに綏芬河から黄龍を一路西へ〳〵と侵襲して焉嶋つゝある、ウスリーを渡河した太部隊は虎頭を占據してすでに虎林さして急進中、また北滿ではブラゴエシチエンスクを越えて黑河に上陸し一路南下してゐるし、西は滿洲里を突破して海拉爾に向つてゐる、ノモンハンの方面もすでに大機動部隊がアルシヤンに侵入して東進しつゝある――こうした報導は刻々私たちの耳にもはいつた、だがこれは一朝滿洲に事ありとするとき當然起りうる情勢なのである、何を今からあわてるのか、在留邦人は最後までで一歩も退かず戰ひぬかなければならないのではないか、日本內地の人々は度重なる空襲にもめけず、家を焼かれ家族とちり〳〵に別れてまで尙ほ生産のために戰つてゐるではないか。

十日の夜深更までかゝつて社員家族の輸送は完了した、十列車、客貨車混合の編成で、地域別に班の順序によつて濟され、南新京驛から乘車行先は十日の朝になつて最初の通化行が變更となり、北鮮の平壤附近といふことになつて一時間おきに十列車は安奉線さして南下した醫療車や食糧車を連結した。（以下次號）

新生

石川晴浪

○避暑氣分の疎開者もちらくもひきあげて

靜かになりし谷に雪きゆ

○敗戰の混の中に新らしき年を近づく光そきたる

○うちけられ貧苦に死にし人いと人無官の御魂今ぞ輝く

○衣食足り禮節ありと言やよしとの聲ひづけひらけこの聲

祝民生發刊

○思ふこと言あげていふ時代來ぬ新日本は言あげの國

○よこしまはしりぞくべし眞すべし

筆の劍を振へ民生

○神がゝりの歌のみ詠みて道に歸る神の道とぞいゝし人はや

窓

をあけよう、永い間閉ざされてゐた鐵の扉をあけて、そして新鮮な空氣を吸をう、この欄は讀者諸氏の國民議會である。

凡ゆる問題を俎上に、活潑に投稿を希む。

投稿は五十行以內紙上匿名は可なるも原稿には住所氏名明記のこと

1 福島驛から大通りへかけて眞闇な坂道を汽車から降りた老人や小供は勿論傍等青年でも二、三度顚倒した。明るい町の建設の爲に優先的に街燈へ五、六個灯ける位の事は中部配電でもしさうなものだお互忙がしくて氣がつかなければ別だ、お願して下さい。（町の青年）

2 おらの村會議員一同は何の責任を感じてか村長へ辭表を出したが又引込めたさうだ、そんなら初めから出さねばいゝのに責任が泣くぞ（木組村小木會生）

3 電燈の故障で飯だ會社の若い人達の氣の荒いのと無作法にはあきれました。所長さんからおさとし願へませんか、でもこれは私の家だけのことかな（一主婦）

4 大闇、小闇師合せて五十人から福島町には積行して居るさうだ、新しい日本の建設にはこういふ人はどういふ役區でせうか社の方に御教示願ます。（憤慨生）

5 福島驛前の便所は驛の心づくしで實に清潔だ、町の門口としてわれ〳〵の誇りとしていゝ、お互に注意してこの親切心に答へねばならない。（一町民）

自由の翼

われらのかち得た自由の翼、しかし、仕事への反省も自覺もない盲目の翼ならば

生活苦の唄しか歌へない翼ならばみんな勉强しよう、民主の飛行に躍る „新聞阿呆" とならぬため、こゝにわれら „岐蘇民主グループ" が高らかに出發の旗を揭げる、わがグループ＝蘇硯文化向上の强い推進力ともならふ。

よく讀み、深く思索した活潑な論議も展開しよう。

飲むも大いに宜し、光榮ある青春の杯よ。

明るく正しく自由の空氣をひたむきな字宙線の情熱をもつて、われらの編隊は文化の高々度へ上昇する。（保生）

◎お願ひ

青年と婦人のために、青年と婦人欄を設けます、投稿をお願ひ致します。

投稿は大体二百行以內紙上匿名は可なるも原稿には住所氏名明記して下さい。

社告

短歌募集

一、一人三首まで葉書で

一、締切毎月十日

一、選者　石川晴浪氏

著作権法に基づき提供された複写物です。著作権者等の許諾がなければ、掲載・配信等ができない場合があります。 国立国会図書館 2015年11月4日